



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二三八号

2022.5.27
責任者
市川 麻美

3年ぶりの 修学旅行へ

五月一六日(月)から二泊三日、関西方面(京都・奈良)修学旅行、今年度の三年生はおかげさまで無事行うことができました。私事ではございますが、校長として着任して二年間、感染症拡大のために実施できなかった分、今年度こそ、と願っていたので本当にうれしいことです。さらに添乗員の方から『真鶴中の生徒さんは、本当にきっちり約束の時間を守っていて立派でしたし、バスガイドの方も口々に今までで一番楽しいと話されていました』と報告いただきました。重ねてうれしいことです！

また、五月一七日(火)、一年生は『真鶴散策』、二年生は『鎌倉』へ校外学習に出かけました。小雨がぱらつく中ではありまし

たが、三学年そろって校外学習が行えて、感無量です。今後の学校生活に、この経験を生かして、「できることを精一杯工夫しながら楽しむ」ことを生徒と共に模索したいと思います。

修学旅行を 終えて

僕が修学旅行で思い出に残ったことは三つあります。

一つは、二日目の班行動です。理由は、結構前から班で計画を立てて、少しバスの時間が遅れたなどのトラブルはあったけど、結果的には旅館にも帰って来れたからです。特に、錦市場で食べた抹茶スイーツが、おいしかったです。

次は、清水寺です。理由は、清水の舞台を見ることができたり、みんなで土産を買ったことでもできたからです。みんなでおみくじ

を引いたことも、思い出の一つになりました。最後に、旅館での自由時間です。携帯電話が使えなかったけど、逆にこれがみんなとの仲を深めました。みんなで一緒にBINGOをしたり、トランプをしたりして楽しめました。

鈴木琥珀



私が印象に残ったことは、二つあります。

一つは班別行動です。私たちは二条城、本能寺、伏見稲荷に行きました。その中でも特に伏見稲荷が印象に残っています。何千もの鳥居があり、最初は数えながら行きましたが、大変で途中で分からなくなってしまうくらいになりました。重石では、重すぎで持ち上げることができなかつたので少し残念な気持ちでした。でも、それも大切な思い出になったのではないかと思います。家族と旅行にきて、できるチャンスがあったらチャレンジしてみたいと思います。

もう一つは、部屋です。部屋のメンバー達とお菓子を食べながらゲームをしたり、恋バナをしたりしました。とても面白く、楽しくて二泊じゃ足りないと思います。部屋の子達と寝れてとても楽しかったです。幸せでした。

あと、みんなでできる行事は三つくらいありませんが、最後の卒業式まで、学年みんなで大切な思い出を作っていきたいです。

宇賀にこ

2年生 鎌倉校外学習

心に一番残ったことは、高德院です。なぜなら、インタビュールした人がとても話しやすい人で、とても楽しかったです。そして、三班と合同で行ったので楽しかったです。協力しながら高德院に行き帰ってこれたので良かったです。また、面白いことも結構あったので、とても楽しかったです。あと、鶴岡八幡宮も友達が大吉が出たりして面白かったし、上まで登ってみた景色は良かったです。

原田善生



私は、寺社には一つ一つ違う意味があることを感じました。明月院では花に対する思いやりに感じて鶴岡八幡宮ではハトを大事にしていることが感じられました。銭洗弁財天までの道は過酷だった。

たけど、着いたときすごく神秘的で、雨だったからこそ感じられる雰囲気がありました。高德院の大仏は、写真で見るとよりはるかに大きくて、後ろに開きがあつてあいていました。鎌倉に行くまで色々なところを調べて、色々なところの写真を見たけど、結局実際に見たものが、一番いいと感じました。行って良かったです。

松本心梅

1年生 真鶴散策

美の町とは、真鶴町の「美の基準」という基準を中心に考えられていたことが分かりました。平成六年頃にマンションの建築が盛んになり、空き家が多くなってしまふと考え、真鶴は「真鶴町まちづくり条例」を作りました。その条例のおかげで今の真鶴町の自然が保たれていたことも分かりました。自分が考えると、コミュニティ真鶴は真鶴町の「美の基準」の象徴だと思いました。今回の校外学習では、美の町のことだけでなく真鶴の歴史まで学ぶことができ、本当に一石二鳥でした。この作文では、コミュニ

ティ真鶴で例えましたが、他の場所でも色々な事を学びました。とても自分のためにもなったし、これからのことにも役立つようなことを学ぶことができ、本当に楽しかったです。美の町コースを選んで本当に良かったです。ぜひ、また美の町のことについて勉強したいです。

富田龍成

私は、真鶴散策に行き様々な歴史を学んだ。

真鶴散策、歴史・道祖神コース事前学習も班で手分けして取り組み、真鶴散策を行った後には、班毎のマップ作りをするため、ガイドさんの話はしっかりと聞き、積極的に質問をし、マップ作りにつなげるために一人ひとりが頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと応援されているように感じました。私は道祖神を調べていた。



は、町と町の境や、街道の入口や出口に作られていて、町に病気をいれたいように作られたそう。道祖神は「サイノカミ」と言われることもあるそう。真鶴散策に協力してくれた先生方やボランティアの皆様、地域の方にとっても感謝している。これからの真鶴町の歴史となっていく私たちが、次の時代に受け継いでいくことが大切だと考えた。

中込こゆき

学校生活を安心して送るための心のサポート

本校では、学校生活を安心して送れるようにするため、生徒・保護者対象に心のサポートをしています。

心の相談員の池上利佳先生、スクールカウンセラーの石川マサノ先生(68-4800)、町教育支援センターの佐々木篤先生(68-1920)がサポートしてくれます。そして、本校の職員全員が常に見守っています。少しでも気になることがありましたら、遠慮なく連絡をしてください。